

M café の活動について

澤田 美恵子*・山口 陽子**・服部 央***
samieko@kit.jp, yamaguchi_yo@jim.kit.ac.jp, hattori_hi@jim.kit.ac.jp

1. はじめに

「文化や言葉について不思議に思ったとき、知りたくなったときはもちろん、ちょっと時間があいたときなど、息抜きのつもりで気軽におしゃべりに来てください。いろいろな言語スタッフが下記のスケジュールであなたをお待ちしています。」

M café ができたばかりのころ（2015年）のポスター（図1）です。最新の予定表（図6）にも同じ文言で案内されています。本学附属図書館1階にある「グローバルcommons^[1]」に

—スケジュール—		
月曜日	15:00 - 19:00	韓国
火曜日	16:00 - 19:00	中国
水曜日	15:00 - 20:00	日本
木曜日	15:00 - 19:00	ギニア
金曜日	15:00 - 17:00	ベトナム

【場所】 大学内図書館1F グローバルcommonsエリア内

Global Learning Commons

図1 M café ができたばかりのころ（2015年）のポスター。

* 基盤科学系 教授

** 国際課 総務係長

*** 国際課 事務補佐員

2015年よりオープンしたM caféについて、まずは発起人の澤田美恵子教授にお話をお伺いしました。

2. M café とは

「M café は、大学におけるエンパワーメントの試みの一つとして創めました。留学生が持っている力を活かして、日本人学生とのコミュニケーションを円滑にしていこうという発想です。これからの時代は、多言語多文化の世界で生きていくことを余儀なくされるでしょう。学生時代にそのコツを掴んで、楽しく世界に出逢ってほしいと心から願っています。」

服部央さんという心強いスタッフに恵まれ、国際課の皆さんの温かいサポートのもと、コロナ禍であっても活動が途切れることなく長く継続できていることは、本当に有難いことです。M café の活動の輪が世界の平和に繋がっていくよう、今後ともどうぞよろしくご支援のほどお願い申し上げます。」

澤田教授のお言葉の中で紹介されております、実際に現地で担当されている国際課スタッフ服部さんにM café のお話をお伺いしました。

「研究に関する専門的なプレゼンはできる、質疑応答だってできる、でも（コミュニケーションの第一声）「ハロー！」（Hello!）など簡単な挨拶が緊張して言えない。・・・そんな状況から、参加者が一歩踏み出せるような参加しやすい雰囲気作りを一番に心掛けています。より実りのある国際交流（化学反応）への『触媒』（“catalyst”）でありたいと思っています。」

服部さんにお話を伺っている間にも、M café ではさまざまな国籍の学生が、時には英語で、

時には自身の第一言語(中国語やベトナム語)で、時には日本語で、まず互いの自己紹介から、交流を楽しんでいる様子が伺えました。

3. Webex を通じた M café の交流

澤田教授のお言葉の中に「コロナ禍であっても活動が途切れることなく」とありましたが、コロナ禍での M café は、本学で採用しているテレビ会議システム Webex を用いて実施しているとのことでした^[2]。

下記 URL にアクセスすると、

https://www.kit.ac.jp/global_commons/#mcafe

「Webex で交流する」の青いボタンが見えま
す(図2)。



図2 M café の紹介ページ

「Webex で交流する」ボタンをクリックすることで、附属図書館1階にある「グローバル commons」へと接続されます(図3)。

予定表の日時で、担当スタッフが対応してく
れます。



図3 Webex を通じて M café にアクセスしてきた
際の様子。

オンラインでも、現地でみなさん集まってい
るかのような楽しそうな表情で交流を楽しんで
おられます(図4)。服部さんに Webex を通じ
ての M café の感触についてお伺いしてみまし
ても、対面での実施とほとんど遜色ないほどに、
円滑にやり取りを行えているとのことでした。



図4 楽しそうに会話が弾んでいる様子が
よくわかります。

4. インターナショナルマンス

2022年10月は「インターナショナルマンス」
と題して、よりバラエティに富んだ国籍の学生
スタッフが M café を盛り上げてくれたそうです。



図5 インターナショナルマンスのポスター



図6 インターナショナルマンス期間中のM caféの予定表

国際課山口陽子総務係長に「インターナショナルマンス」でのM caféについて振り返っていただきました。

「留学生は秋学期からの入学も多く、入学した留学生向けに、本学の環境に馴染めるような企画を考えていました。これまでグローバルcommonsでは、世界各地域の特色を活かしたフェアを行っていましたが、今回京都フェアはどうかという案を澤田教授からいただき、開催することにいたしました。

京都にある世界遺産を展示する他、M caféスタッフや京都フェアを見に来てくれた学生からの新入留学生に役立つ情報の掲示を行い（図7）、京都フェアが終わる頃には、お勧めのお店や観光地など、たくさんのコメントをいただきました。」

インターナショナルマンス期間中にも何度かM caféを訪問させていただきましたが、図7のようなさまざま掲示を背景に、学生さんたちの楽しそうな自己紹介や雑談が、グローバルコ

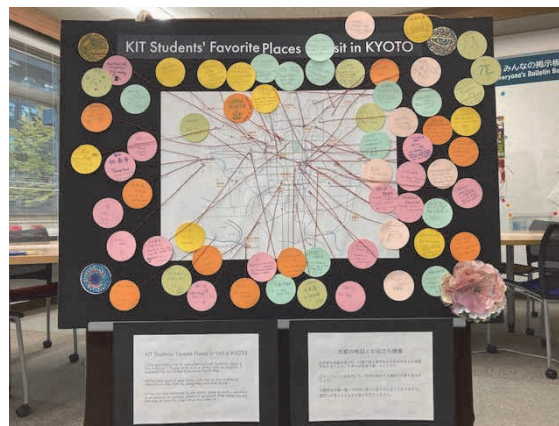


図7 新入留学生お役立ち情報の掲示

モンズに響いておりました。

5. おわりに

このたびお話を伺って、もし自分が留学生だったとして、大学にM caféのような場があったら、本当にありがたいだろうな、と思いました。今後もさまざまな工夫を凝らし、M caféが発展していくのを心よりお祈り申し上げます。

また、今回の取材をきっかけに、センターが提供しているサービスをM caféでより活用いただけたら幸いです。

参考

- [1] 本学公式ウェブサイトの下記ページにて、M caféの活動が紹介されています。
https://www.kit.ac.jp/global_commons/
 本学国際センターのFacebookにも、M caféの活動が紹介されています
<https://www.facebook.com/KIT.Kyoto.International/>
- [2] 国際課山口陽子総務係長より以下の補足情報をいただきました。

「政府の水際対策の緩和により徐々に留学生の受入も増え、オンラインだけでなく対面でも、コロナに配慮しながら企画を行うようになってきております。昨年度、深紫外線空気清浄機を導入し、つい立て（アクリル板）を置いたり、換気などにも配慮しております。」